

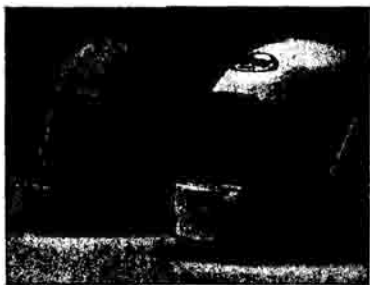
ARAI NEWS

ヘルメットは軽い方が首への負担が少ないのは当然です。ところがハカリに乗せて計った重量がそのまま負担の大小を示すかというところでもないんです。

だいたい成人男子の頭は約5kgでかなり重たいものです。でも日常生活において私達は頭の重さを意識することはまずありません。というのは頭はその重心近くにある首のつけ根にバランス良く乗っているからです。

ですから、ヘルメットの重心が、ちょうど頭の重心にくるようにできていれば、5kgにヘルメットの重量が加わった位どっていうことありません。ところがどうしても重心はかなり上の方になってしまいます。しかも、ヘルメットを軽くしようとすればする程、ヘルメットの重心を下げるのが難しくなってしまうのです。

ヘルメットを軽くするには、重量の大半を占める帽体を軽くしなければなりません。但し、強度を保ちながら軽くするのは実に難しいことなんです。だから5月号のこのページでも取り上げた帽体の強度を下げ、緩衝体を硬くしてしまうという姑息な手段まで現われているのです。



(5月号 ARAI NEWS 衝撃吸収のメカニズムは結構になります。是非読み直して下さい。) また、ヘルメットの規格

はほとんどがヘルメットの上半分をテストします。そこで上半分には十分な厚みをもたせ、テストされない下の部分は、ギリギリの薄さにしてしまう。こんな例がまだまだ数多くあるのです。ところがこんなことをしても、ヘルメットの重心は頭の重心から離れた上の方になり、ハカリの上では軽くとも、実際にかぶると、首の負担は軽くはなりません。それどころか、実際の転倒例では両サイドの横半分を打っているものが多いみられます。



だからその重要な部分を薄くしてまで軽くするなんて自分でかぶる事を考えりゃとても恐くて出来ません。

今度のcLc RX-7Vの帽体には、米国において宇宙産業及び戦略兵器用素材として開発された通常のガラス繊維よりも10%も圧縮と引っ張りに強く、剛性に富む超高強度ガラス繊維スーパーファイバーと、弾性に富み比重の軽い特殊合成繊維を、それぞれの短所を補うように複合積層したNew cLcを採用しています。これは40年の研究の上に出た新しい帽体素材で、あのSUPER cLcよりも軽く仕上がりました。もちろん成型された帽体は下の方までがっしりと出来ているので、ヘルメットの重心は頭の重心



にかなり近づいています。そのようにつくられていながら完成品では1,400g前後。かぶった際には、重量よりかなり軽く感じるはずですよ。

RX-7Vをご覧になる時には、帽体のスソを両端からしっかり押して、下の方までがっしり出来ていることを確かめ下さい。その後かぶって首をふってみれば手に持った時とまた違う軽さをご納得いただけるはずですよ。



手に持ったよりもさらに軽い cLc RX-7Vの秘密

(株)アライヘルメット
〒330 埼玉県大宮市東町2-12
TEL(0486)41-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。
製品の事なら、お気軽にご相談ください。
直通 TEL (0486)45-3661